

令和4年度 現職研修助成事業（学校研修の部）研修概要

申請者 防府市立牟礼中学校

教頭 江頭 克友

1 研修主題および設定の意図

『生徒の学びと育ちを地域ぐるみで支えるためのカリキュラムの工夫』

～地域に誇りと愛着をもつ生徒の育成をめざして～

本校が位置する防府市牟礼地区には牟礼協育ネット（通称 牟礼ミラタクネット）があり、本校もその一員である。また、牟礼小学校との牟礼地域小中連絡協議会も定期的を開催しており、小中一貫教育を念頭に置いた取組を進めている。これらの組織との連携を強化し、地域行事等へ生徒ボランティアを派遣することで教育課程外の活動を充実させてきている。今年度も、カリキュラムマネジメントを本校研究の柱の1つに据えており、地域連携強化を進め、地域とともに行う活動を通して関わり深めながら、地域に誇りと愛着を持つ児童生徒を育成したいと考えている。

2 研修内容

(1) 牟礼協育ネットとの連携強化

牟礼協育ネットとの連携を強化し、課題と成果を確認しあいながら、カリキュラムマネジメントをもとにした「学校・地域連携カリキュラム」の充実を念頭に置いた研修を進めている。

① 地域と連携したボランティア活動の一層の推進

地域で行われる教育活動を、地域と連携した教育を実現する貴重な場と位置づけ、牟礼地区の地域で行われる行事や牟礼協育ネットが主催する行事に中学生がボランティアとして積極的に参画することにより、関係機関・団体、地域住民と連携して地域に貢献する機会を子どもたちに提供することを意図した。

昨年度に始めた敷山城址清掃へボランティアでは、49名の生徒が参加し、地域の方々とともに活動することで、交流を深めることができた。特に本校の卒業生にあたる方から、「後輩と一緒に活動できてうれしい。高齢化が進み、年々作業が難しい状況になっているので助かる」という声もいただいた。

地域の方からの感謝の言葉に、自分たちの活動に誇りをもつことができた。



また、今年度は、12月上旬に3年ぶりに柳川通学路清掃が行われた。本校からも約20名の生徒が参加し、地域の方々とともに清掃活動を行った。川に土手には予想を遙かに上回るゴミがポイ捨てされており、参加した生徒たちは、地区の現状を目の当たりにし、この地域をきれいな地域にしていきたいという思いを新たにしていた。



そして下旬には、3年生による「おもてなし清掃」を実施した。この活動の目的は、「年末に帰省される方々を気持ちよくお迎えしよう」という思いで行った。牟礼地区には柳川方面からと敷山方面からの入り口があり、この清掃では敷山方面の清掃を行った。前回の柳川清掃同様、かなりのゴミが捨てられており、自分たちの住む牟礼地域をもっときれいにしていきたいという思いを抱いた生徒が多く、地域への愛着を醸成するよい活動となった。



さらに、今年度は新たに、地域にある地下道に描かれている壁画の清掃ボランティアにも参加した。地域の方から、「以前、先輩方が描かれた壁画を一緒にきれいにしませんか」というお誘いを受け、一緒に活動を行った。生徒たちには、描いて終わりではなく、地域の財産として守っていくことの大切さを学ぶ、良い機会となった。



② 地域協育ネット主催の英会話教室へのボランティア参加

今年度は、牟礼地域協育ネットである牟礼ミラタクネットからボランティアの派遣要請を受け、「楽器にふれてみよう」と「英語 de あそぼう」という小学生対象の活動へのボランティアの要請を受けた。

「楽器にふれてみよう」では、本校の吹奏楽部を中心に、様々な楽器の演奏を一緒に楽しむ時間として行った。今までふれたことのない楽器を手にする小学生の笑顔やサポートする中学生の優しさがあふれ、地域の方々とお過ごし素晴らしい交流の機会となった。

また、小学生対象の英会話教室『英語 de 遊ぼう』は、防府市教委のALTを講師として牟礼公民館で開催している活動で、ALTのサポートとして小学生やその保護者とも交流を深めることができた。



③ 放課後子ども教室へのボランティア参加

今年度は、水曜日の放課後に小学生対象で行われている「放課後子ども教室」へのボランティアの要請を受け、「ボッチャ教室」と「凧あげと昔のあそび教室」の2回に参加した。「ボッチャ教室」では、審判や判定の補助、小学生や地域の方との対戦など、多くの方々とふれあうことができた。また、「凧あげと昔のあそび教室」では、小学生と一緒にグラウンドを駆け回り、凧あげのコツを伝えながら、交流を深めることができた。自分たちもお世話になった「放課後子ども教室」に恩返しすること、そしてこの活動が引き継がれていくことが、地域に愛着を持つ生徒の育成につながることを期待している。



(2) 牟礼地域小中連絡協議会との連携強化

本校の校区には牟礼小学校があり、その卒業生が本校に進学してくる、いわゆる一小一中という関係になっている。そこで、牟礼小学校と牟礼中学校とで牟礼地域小中連絡協議会を設置し、学習指導・生徒指導両面における共通実践目標を設定したり、関係する諸問題を協議したりしている。会には両校の職員に加え、両校の学校運営協議会の会長にも参加していただいている。学校外からの視点で意見をいただけ、多角的に指導の在り方を議論することができている。

① 小中一貫教育を念頭に置いた牟礼小学校6年生の中学校体験入学

今年度は11月に牟礼小学校6年生全員を対象にした半日体験入学を実施した。これは、中1ギャップの解消とともに小中のスムーズな接続を目指す取組である。

中学校の授業体験や中学生の授業の様子見学、本校生徒会が推進している無言で清掃活動を行う『無言清掃』の体験、部活動の様子を見学した。本協議会の目標に「お手本は、中学3年生の姿です。」とある。特に今年度は、掃除を一緒に行うことで、中学生の本気の掃除に感銘を受けたようで、その思いを感想文に見ることができた。

また、小学校の教員が中学3年生の姿を具体的に目にするすることで、目標とすべき姿が明確になり、牟礼地域9年間の成長のイメージを共有できた。小学校と中学校の教員同士が意思疎通を図り、児童生徒の成長に繋げる一助となっている。



4 成果と課題

この4年間で、生徒がボランティアスタッフジャンパーを着用して様々な地域行事に参加するようになった。地域にも本校のボランティア活動が根付き始め、年々中学校へのボランティアの要請が増えてきている。本校生徒にとっても、校区内の小学生や地域住民とのふれあいの機会が増えることで、お互いが顔見知りになりつつある。登下校時に生徒たちが地域の方々と交わす挨拶の声も大きくなってきたと、学校運営協議会や牟礼ミラタクネット（地域協育ネット）でもお褒めの言葉をいただいている。今後も活動の内容や実施方法を工夫しながら、地域の方とのつながりを深めて行きたいと考えている。生徒たちのボランティア活動は、行事を主催する各団体や行事に参加している保護者・地域住民からも好評で、今後も地域の要請にできるだけ応えていきたいと考えている。

今後は、中学校発信の活動を実施することと、参加者を増やすことが課題となる。ボランティア活動事態は盛んになっているが、まだまだ受け身の感じである。中学校が企画して地域へ出て行く活動や小学校と連携して行う活動を充実させることで、さらに生徒たちにボランティア活動に対する積極性を喚起したい。また、ボランティアに参加する生徒の延べ人数は年々増加の傾向に傾向にある。しかし、一人が複数回参加しているのが現状である。今後は、授業の一環としてカリキュラムの中に組み込むことで、より多くの生徒がボランティアの体験をし、地域の方々と関わる機会を設けていきたい。

地域の人と顔見知りになる、そして地域のことを知ることで、地域から愛され、地域に誇りと愛着をもつ生徒の育成をすすめていきたい。